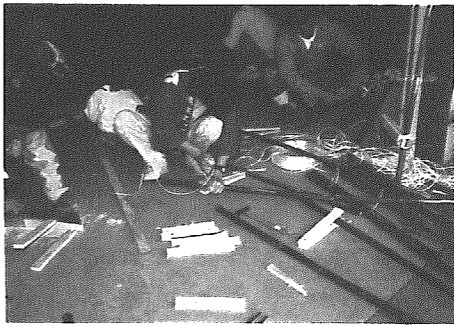


昨年を上回る賑わい 横越の竹のこを満喫

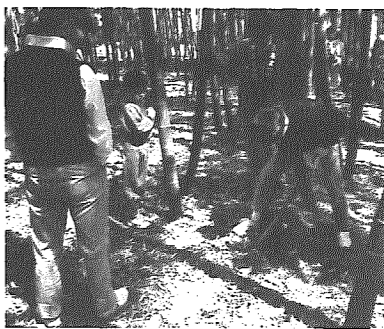
連休最後の五月七日に竹のこフェアーフジコマ実行委員会の主催で藤山・駒込地区と農協野菜集出荷場で「竹のこフェアーフジコマ」が開催されました。竹のこの消費拡大と自然景観保持を考え、竹のこを通して都市と農村の交流を図り、地域を魅力あるものとする目的で始まった「竹のこフェアーフジコマ」は今年で三回目を迎え、参加者は昨年の四百人を上回る五百人以上の参加がありました。

当日は、親子で竹のこ掘り、竹馬・竹トンボづくり体験、野だてが行われ、数多くの参加がありました。竹のこ掘りは思ったより難し



く、上手に掘ることは竹のこの根の出具合を見極め、竹のこを傷つけないように周りから土を掘っていくことであるということです。

また朝掘り竹のこ市、竹のこ汁サーブスや竹民具、竹農具の展示で一日中賑わいました。



一万本のチューリップが

出迎え

夢さがしチューリップ・

TULIP '95

色鮮やかにチューリップの花が咲き誇る「みどりの日」の四月二十九日「夢さがしチューリップ・Tulip '95」が阿賀の里づくり・よこしの主催で開催され、村内外から数多くの家族連れが訪れ、初夏を思わせる好天の下で満開のチューリップを満喫しました。

屋外会場となった北方文化博物館周辺に広がる約四十ヘクタールのチューリップ畑には、赤、

黄、紫などの色鮮やかな約一万本のチューリップが咲き競い、思わずうっとりとした気持ちにさせられ、お花畑の中で記念写真を撮ったり、お弁当を広げて食べる姿などを見ることができました。

また、クイズを解きながらチューリップ畑を楽しく散歩するフィールドウォークラリーには、家族連れの参加者が多く、クイズを解き先を急ぎつつも、ちょっと足を止めて周りの景色を眺めている親子の様子が印象的でした。屋内会場の農村環境改善センターでも、チューリップを自分らしくアレンジするフラワーアレンジメント教室、草笛教室、チューリップの色素を使って染めるチューリップ染教室、土曜クラブの皆さんなどによるフリーマーケットなどが出店し賑わいました。



満開に咲き誇るチューリップ



フィールドウォークラリーに挑戦

早く学校生活に慣れて

横小で一年生を迎える会

四月二十日、横越小学校において、新一年生を迎える会が行われました。

この行事は学校児童の企画委員会が中心となり、まだ学校生活に慣れきっていない後輩の一年生に対し二年生以上の児童達が協力し、クイズ等のレクリエーションを通して打ち解けあい親睦を深めるといふものでした。この行事にあたり企画委員長

の清水沙織さんからは次のような歓迎の言葉がありました。「今日は、みなさんが楽しみにしていた一迎会です。今日やる〇×クイズなどは、この一年間の主な行事です。この他にも各委員会の人達が考えた楽しい行事もあります。皆さんは、まだ入学したばかりなので分からない事もあると思いますが、今日のクイズなどで、どんな行事があるか早く覚えて欲しいと思います。」

その後、二年生の楽しい音楽に合わせたり踊りの出し物や「遠足は水着で行く」というような〇×クイズが行われました。会の最後にあたっては、一年生から「お兄さん、お姉さん、私達も、僕達も今日から風の子の仲間です。仲良くしてください。よろしくお願いします」とお礼の言葉がありました。

分らない事、困った事があつたら先輩達に聞くなどして早く学校生活に慣れて欲しいものです。

阿賀野川
今昔いろはカルタ

②水あぶり止められても曳る阿賀野川

①師走空雪舞ふ里の阿賀野川

③縁奇しく阿賀の水にて産湯する

②屋下がり井戸端に変わる阿賀河渡

④百舌鳴きて岸辺の柳見雪占う

⑤舟頭の夕餉七輪の火で阿賀の岸

⑥すわ法螺貝想は深き阿賀の川

④運搬船に変わりて観光の阿賀下り

(作者 五十嵐要栄智さん)
今月で阿賀野川今昔いろはカルタシリーズは終了いたします。作者の五十嵐さん大変ありがとうございました。

村民総合健康診査日程表

7月3日(月) 木津(農業構造改善センター)
7月4日(火) 二本木(横越勤労者体育センター)
7月5日(水) 小杉(小杉地区コミュニティセンター)
7月6日(木) 沢海中・下(農村環境改善センター)
7月7日(金) 沢海上(農村環境改善センター)
7月10日(月) 川根谷内(横越村総合体育館)
7月11日(火) 横越上・下(横越村総合体育館)
7月12日(水) 横越中(横越村総合体育館)
※健診時間は、午前9時から午後3時まで。
(午前11時から午後1時まででは受付事務を致しません)
ただし、沢海上地区の健診は午前中のみです。ご注意ください。
尚、受付は午前11時までです。
※夜間健診のお知らせ
夜間健診及び胸部レントゲンを7月12日午後6時から7時まで横越村総合体育館で行います。

ていただいております。
皆様の善意に感謝いたします。

県共募が村に

ホームヘルパー用自動車贈呈
四月二十日新潟県共同募金会から、横越村社会福祉協議会へホームヘルパー活動用軽自動車の贈呈がありました。

これは平成六年度に県内で集まった共同募金の一部を、ホームヘルパーの在宅福祉サービスに対する機動力の整備の一環として、福祉に役立てると同時に、共同募金の広報宣伝ならびに募金活動に使用する目的で贈呈されたものです。
村ではさっそく新潟県共同募金会の意向に従って、活用させ

スポーツ少年団 入団式 新たにバレーが加わり四団体に



横越村スポーツ少年団の入団式が、四月十六日に横越村総合体育館で開かれました。

今年、新たにバレーボール少年団が加わり、野球、剣道、サッ

人権擁護委員について

人権擁護委員をご存じですか
人権擁護委員制度とは、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関とし、昭和二十四年に誕生したもので、六月一日を「人権擁護委員の日」と定めています。

カー少年団を含めると四団体となり、人数も昨年より大幅に増え二一九人の入団となりました。スポーツ少年団とは、財団法人日本体育協会が、創立50周年の記念事業として「一人でも多くの青少年に、スポーツの喜びを」、「スポーツを通して青少年の体と心を育てる組織を地域社会の中に」と願い一九六二年創設されたもので、全国的に見ると、三万四千団体、団員は百四万人、種目としては約四十種目にもなります。

こうした創設目的達成のためには、ボランティア指導者のほかに父母や地域の方の協力が大切なことであると佐藤栄太郎本部長のあいさつがありました。

今、全国人権擁護委員連合会では、いじめ、体罰、不登校児など、子供をめぐる人権問題に対し、積極的な啓発活動を展開しています。

村では次の二名の方が法務大臣より委嘱されております。
岩橋 光御(横越)
長瀬 正稔(小杉)

献血目標達成 ご協力に感謝します

村においては、平成六年度の献血で、六一六本(延べ三八〇人)のご協力をいただき、献血目標本数五一五本に対し、一一九・六%という成績で目標を達成できました。
皆さんが献血された血液は、皆さんが献血された血液は、病気や事故などの患者に輸血され役立っています。
今年度の目標は、五五〇本です。お互いの尊い生命を守り合うため、献血により一層のご協力をお願いします。

公衆衛生功労者を表彰

横越村公衆衛生協議会では、四月十四日に開催した総会において、平成六年度公衆衛生功労者として、次の七名の方を表彰しました。

(敬称略)
市野瀬 潔(沢海)
栗山 利助(木津)
坪谷 雅博(木津)
渡辺 芳司(小杉)
鈴木新太郎(小杉)
佐藤 康雄(小杉)
坂井イシノ(横越)

10月1日は 国勢調査

10月1日、全国一斉に、5年に一度の国勢調査が行われます。日本に住んでいる全ての国民が対象です。ご協力をお願いします。

国勢調査

平成7年10月1日

総務庁統計局 新潟県横越村
ありのまま あなたの答えが 国の基礎